

平成28年9月20日

那須烏山市議会議長 渡辺 健 寿 様

文教福祉常任委員会委員長 田 島 信 二

決算審査結果報告書

本委員会に平成28年9月12日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

記

- 1 審査期日 平成28年9月13日（火）及び14日（水）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 田島信二、小堀道和、望月千登勢、渋井由放、渡辺健寿、樋山隆四郎
- 4 説明のための出席者
市民課長 佐藤加代子、福祉事務所長兼健康福祉課長 福田守、こども課長 齋藤進、学校教育課長 岩附利克、生涯学習課長 柳田啓之、文化振興課長 両方裕、他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課の平成27年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出決算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・窓口マイナンバーカードや個人番号通知カードを持参しないことで、市民に不便が生じることのないよう、制度の周知を徹底されたい。
- ・疾病は予防、早期発見が重要である。健康診断の受診率を上げるため、工夫して取り組まれない。また、再検査が必要となった者の受診やその後の継続した治療を徹底するための策を講じ、市民の健康づくりに励まれない。

健康福祉課

- ・高齢者福祉タクシー券、敬老祝い金、敬老会への補助金など市単独事業の給付金は、市の財政状況を考えると見直しが必要となってきた。減額や廃止する場合は数年かけ徐々に実施するなど、市民への負担をできるだけ抑え理解を得られたい。
- ・医療費の増減を分析し、疾病予防対策の効果を検証することで、高齢者自身で疾病を予防し健康を維持できるよう今後の施策に生かされたい。

こども課

- ・烏山放課後児童クラブはこども館を使用し行っているが、施設の安全性に不

安がある。安全な保育ができる場所の確保のため、小学校を使用している他4箇所の児童クラブと同様に、烏山小学校の空き教室の利用に向け教育委員会と連携し早急に対処されたい。

学校教育課

- ・ 県立烏山高校の進学者減少対策としての通学費補助や、配付対象生徒のうち一部のみが使用するラジオ講座の英語テキスト無償配布は、市の財政を考えると廃止も視野に入れ見直す必要がある。金銭的な補助ばかりでなく、継続的に支援できる別の方法も検討されたい。
- ・ 教育関係者やなすから英語塾の受講者による子ども達への体験型の英語トレーニング等、費用を抑えた事業を考案し、さらなる英語教育の充実を図られたい。

生涯学習課

- ・ 市民が図書館を有効活用するためには、指定管理者制度の是非も含め、他市の事例の視察などを通し研究することが必要である。また、本の専門家である図書館職員から教師やP T Aが学校図書 of 修理等支援を受けたり、一緒に活動したりできる関係づくりをし、良い本に触れることができる機会を多くつくられたい。

文化振興課

- ・ 烏山城が保存に必要な補助を受けられる国指定の史跡となるために、ジオパークや資料館も含め、さらなる調査研究を進められたい。
- ・ ジオパークのDVDを制作し、市民や観光客が訪れる公共施設や観光施設で映像を流す等、市内外に本市の地層や化石の素晴らしさを効果的に発信されたい。